

平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成17年2月8日

上場会社名 株式会社 千葉銀行

(コード番号8331 東証第一部)

(URL http://www.chibabank.co.jp/)

代表 者役職名 取締役頭取氏名竹山 正

問合せ先責任者 役職名 取締役経営企画部長 氏名 佐久間 英利 TEL(043)245-1111(大代表)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

(1)会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 (内容)四半期財務・業績の概況作成のための基本となる事項に記載

(2)最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(3)連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 (内容)連結 (除外)1社(ちばぎん総合管理㈱清算結了による)

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日~平成16年12月31日)

四半期財務・業績の概況につきましては平成17年3月期第1四半期より開示を行っているため、前年同四半期 実績及び増減率については記載しておりません。

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	経常	収	益		経常	禾	」 益		四半期(当期)糾	利益
	百万円			%	百万円	}		%	百万円	%
17年3月期第3四半期	155,254	(-)	34,843	3 (-)	21,411 (-)
16年3月期第3四半期	-	(-)	-	(-)	- (-)
(参考)16年3月期	203,837				43,829)			27,584	

	1 株 当 四半期(当期	た り) 純 利 益	潜 在 株 式 調 1株当たり四半期(当	
17年3月期第3四半期 16年3月期第3四半期	円 25 -	銭 45 -	円	銭 - -
(参考)16年3月期	32	74	-	

(2) 財政状態(連結)の変動状況

()				
	総 資 産	株主資本	株主資本比率	1 株 当 た り 株 主 資 本
	百万円		%	円 銭
17年3月期第3四半期	8,601,862	401,417	4.7	477 03
16年3月期第3四半期	-	-	-	
(参考)16年3月期	8,231,727	388,247	4.7	461 54

3. 17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日) 連結、個別ともに平成16年11月22日発表の業績予想から変更はありません。

四半期連結貸借対照表

			<u></u>	(単位:百万円)
科目	当 四 半 期 (A) (平成17年3月期 第3四半期末)	前年同四半期(B) (平成16年3月期 第3四半期末)	比 較 (A) (B)	(参考) 平成16年3月期末
(現コ債買特金有貸外そ動繰支貸の がび払 の 出 他不 会 部 人 保債資信 の産延払 倒 の 出 他不 会 説 の 出 他不 引 別 の 出 他不 引 引 い の 出 他不 引 引 い の 出 を	第3四半期末) 203,849 113,516 3,612 13,474 499,364 29,960 1,678,166 5,779,442 2,130 106,638 104,817 67,236 102,244 102,591	第3四半期末)		2 8 3 , 1 3 4 1 7 2 , 6 6 3 1 0 , 4 6 7 2 , 0 1 2 3 6 1 , 2 1 9 3 0 , 2 4 8 1 , 4 5 7 , 6 6 0 5 , 6 4 5 , 1 3 7 1 , 8 3 2 1 0 2 , 8 3 8 1 0 7 , 5 9 9 7 7 , 2 5 0 9 3 , 8 8 3 1 1 4 , 2 2 0
資 産 の 部 合 計	8,601,862			8 , 2 3 1 , 7 2 7
(預譲コ売債特借外社そ退特繰再連支 負債 ボマ現借 国 船	7,506,274 109,198 49,353 34,999 140,345 6,391 85,494 237 39,500 87,045 22,052 104 154 9,419 102,244			7,247,185 99,498 3,593 26,399 102,409 7,644 92,397 405 39,500 91,094 23,384 104 139 8,693 593,888
(少数株主持分)	7,629			7,139
少数株共方分(資本本 乗)本 乗)無(資本本 乗)本 無)無(資本 本 乗)無無(百分合本 の 株 主(百分合本 の 株 主(百分合本 の 株 主(百分合本 の 株 主(百分合本 の 株 主	1 2 1 , 0 1 9 9 8 , 2 4 9 1 4 3 , 1 0 8 1 3 , 9 5 4 2 6 , 4 2 0 4 5 1 1 , 7 8 5 4 0 1 , 4 1 7			1 2 1 , 0 1 9 9 8 , 1 7 8 1 2 7 , 8 5 0 1 2 , 8 7 9 2 9 , 9 0 7 3 0 8 1 , 8 9 5 3 8 8 , 2 4 7

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

(参考) 平成16年3月期 (要約)
203,837
134,515
(118,235)
(15,112)
36,900
2 , 5 3 1
3,350
26,540
160,008
10,929
(3,504)
10,728
5 7 7
80,582
57,190
43,829
5 , 0 4 7
7 1 0
48,165
3,580
16,622
3 7 8
27,584
((

⁽注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結剰余金計算書

(単位:百万円)

			(単位:日万円)
当 四 半 期 (A) (平成17年3月期 第3四半期)	前年同四半期(B) (平成16年3月期 第3四半期)	比 較 (A) (B)	(参考) 平成16年3月期
98,178			98,178
7 0			0
7 0			0
98,249			98,178
127,850			104,431
21,411			27,665
21,411			27,584
-			8 1
6 , 1 5 3			4,245
5,038			4,197
4 0			-
1,075			-
-			4 8
143,108	/	/	127,850
	(平成17年3月期 第3四半期) 98,178 70 70 98,249 127,850 21,411 21,411 -6,153 5,038 40 1,075	(平成17年3月期 第3四半期) (平成16年3月期 第3四半期) 98,178 70 70 98,249 127,850 21,411 21,411 - 6,153 5,038 40 1,075	(平成17年3月期 第3四半期) (平成16年3月期 第3四半期) (平成16年3月期 第3四半期) (平成16年3月期 70 70 98,249 127,850 21,411 21,411 - 6,153 5,038 40 1,075

⁽注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期財務・業績の概況作成のための基本となる事項

当四半期(自平成16年4月1日至平成16年12月31日)

当行は、中間(連結)財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下の通り一部「簡便な手続き」を採用して四半期財務・業績の概況を作成しております。なお、四半期財務・業績の概況に関する計数は、監査法人による監査を受けておりません。

「簡便な手続きの内容]

・貸倒引当金につきましては12月末時点の自己査定に基づく債務者区分残高に、中間連結会計年度末に算定した貸倒実績率に補正を加えた率を適用して計上しております。

セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

当四半期(自平成16年4月1日至平成16年12月31日)

(単位:百万円)

	銀行業務	リ - ス 業 務	そ の 他 業 務	計	消 去 又は全社	連 結
経 常 収 益						
(1)外部顧客に対する経常収益	133,622	13,312	8,319	155,254	-	155,254
(2)セグメント間の内部経常収益	921	206	32	1,159	(1,159)	-
計	134,543	13,519	8,351	156,413	(1,159)	155,254
経 常 費 用	102,026	12,617	6,843	121,486	(1,076)	120,410
経 常 利 益	32,517	901	1,508	34,927	(83)	34,843

- (注)1.一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。
 - 2.事業区分は、連結会社の事業の内容により区分しております。なお、「その他業務」は、証券業、クレジットカード業等であります。

2. 所在地別セグメント情報

全セグメントの経常収益の合計額に占める本邦の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

3. 海外経常収益

海外経常収益が連結経常収益の10%未満のため、海外経常収益の記載を省略しております。

平成16年度第3四半期決算 説明資料

1. 平成16年度 第3四半期損益状況(単体)

(単位:億円)

				平 成 16年 度 第 3四 半 期	平成16年度 (公表値)	平成15年度 (実績)
業	務業	且利	益	1,104		1,425
	資 金	利	益	933		1,208
	役 務 取	引 等 利	益	121		168
	特 定 耳	又 引 利	益	15		20
	そ の 他	業務利	益	34		27
経	費(除くぼ	臨時 処理 兌)	554		741
業系	务 純 益 (一 🛭	投貸 引 繰 入	前)	549	730	684
— 舟	般貸倒引当	金純繰入額	額	81		0
業	務	純	益	468	730	684
臨	時	損	益	149		281
	うち不良	債 権 処 理 額	預	166		310
経	常	利	益	318	500	403
特	別	損	益	32		44
	うち償却	債権取立	光	34		0
	うち代行	部分返」	- 益	-		49
四	半期(当	期)純禾	益	197	300	257
信	用 コ ス ト	(+)	247		309

信 用 コ ス ト (+)	247	309
実質信用コスト (+ -)	213	309

2.「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体)

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

		 平成16年12月末		
		一十八八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十	16/9比	16/3比
破産更生債これらに準		418	56	23
危険債権		1,256	100	459
要管理債権		1,499	103	4
合	計	3,174	59	439

平成16年9月末	平成16年3月末
362	394
1,356	1,715
1,396	1,503
3,115	3,614
 4 m . oo	- /- I

(注)平成16年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に 規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

また、同計数は、平成16年12月末を基準日として、当行の定める資産の自己査定基準に基づき営業関連部署が自己査定を実施して算出しております。

債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権(実質破綻先、破綻先の債権)

危険債権(破綻懸念先の債権)

要管理債権(要注意先のうち、元本又は利息の支払いが3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

3.自己資本比率(国際統一基準)

(参考)

	平成17年3月末(予想値)	平成16年9月末(実績)	平成16年3月末(実績)
連結自己資本比率	11%程度	11.05%	11.06%
連結Tier 比率	7%台前半	7 . 40 %	7.13%

(注)上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

4. 時価のある有価証券の評価差額(単体)

(単位:億円) (参考)

(単位:億円)

(
	平成16年12月末			
	時価 評価差額			
			うち益	うち損
の他 価証券	16,584	434	513	79
株式	1,712	389	429	39
債券	10,934	50	58	7
その他	3,937	5	26	32

平 成 16年 9月 末				2	平成 16年	3月末	
時価	評価差	額		時価	評価差	額	
		うち益	うち損			うち益	うち損
17,754	322	418	95	14,395	492	586	94
1,601	275	331	56	1,809	466	500	33
12,384	39	50	10	9,665	12	30	42
3,768	7	36	29	2,919	38	56	17

- (注) 1 . 「評価差額」及び「含み損益」は、期末時点の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理 後)と時価との差額を計上しております。
 - 2. 有価証券のほか、譲渡性預け金を含めております。
 - 3.子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。
 - 4.満期保有目的の債券には信託受益権を含めております。なお、含み損益は以下のとおりであります。

-	単	477	•	億	щ	١.
٠.	=	11/		1.55		,

		平成16年12月末						
帳簿		額 含み損益						
	損	うち益うち損						
	_		^		0			

(参 考	()				(単位:	億円)
平成16年9月末				平力	成 16年	3月末	
帳簿価額	含み打	員益		帳簿価額	含み	損益	
		うち益	うち損			うち益	うち損
84	0	0	0	-	-	-	-

5.デリバティブ取引(単体)

帳簿価額

109

(1)金利関連取引

満期保有目的の債券

(単位:億円)

)	(梦	考
			平成

(単位:億円)

X	1 1	平月	平成16年12月末				
区分	種類	契約額等	時価	評価損益			
取引所	金 利 先 物 金 利 オ プション	7 -	0	0			
店頭	金 利 ス ワ ッ フ ゚ そ の 他	7,359 3,015	10 2	10 2			
	合 計			8			

	平月	成 16年 9月	末	平)	双 16年 3月	末
	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
	119	0	0	94	0	0
	-	-	-	-	-	-
	6,982	10	10	6,442	11	11
	2,856	2	2	2,540	4	4
			7			7
_	→ HΩ ⊒ I I+	L =기 =기 =1	かっ ゆい	マ わ い ナ・	+	

(注)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(2)通貨関連取引

(単位:億円)

(参考)

(単位:億円)

X	1 1. ¥7.	平 成 16年 12月 末			
区分	種類	契約額等	時価	評価損益	
取引所	通貨先物	1	ı	-	
店頭	通 貨 スワッフ゜ 為 替 予 約 通 貨 オフ゜ション	3,768 43 799	4 0 1	4 0 5	
	合 計			9	

				<u> </u>	
平力	成 16年 9月	末	平成16年3月末		
契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
-	-	-	-	-	-
3,236 67 663	3 0 0	3 0 2	3,294 75 374	3 0 0	3 0 1
		5			4

(注)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(3)株式関連取引 該当ありません。

(4)債券関連取引

(単位:億円)

		• • •			
	平 成 16年 12月 末				
区分	契約額等	時価	評価損益		
取引所	209	0	0		
店 頭	100	0	0		
合 計			0		

(参考))			(単位	:億円)	
平。	成 16年 9月	末	平成16年3月末			
契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	
41	0	0	1	0	0	
-	-	-	-	-	-	
		0			0	
. → PT □ □ I I-	<u> </u>	1 # 4 2 74	117 + 11			

- <u>(注)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。</u>
- (5)商品関連取引 該当ありません。
- (6) クレジットデリバティブ取引 該当ありません。
- 6.貸出金・預金の残高(単体・末残)
- (1)貸出金

(単位:億円)

				平成16年12月末 平成16年12月末		
				1 132 10 - 12/1 / 1	16/9比	16/3比
į	Ĕ	出	金	58,175	1,620	1,394
	う	ち住宅口	- ン	17,147	425	905

平成16年9月末	平成16年3月末
56,554	56,781
16,722	16,242

中小企業等向け貸出金	44,515	544	1,127
(中小企業等貸出比率)	(76.73%)	(1.26%)	(0.11%)

Ī		
	43,970	43,388
١	(78.00%)	(76.62%)

(注)中小企業等貸出比率 = 中小企業等向け貸出金/国内貸出金

(2)預金

(単位:億円) (参 考)

(単位:億円)

							平成16年12月末	16/9էኒ	16/3比
預						金	75,257	1,378	2,593
	う	ち	個	人	預	金	57,449	1,687	2,335

平成16年9月末	平成16年3月末	
73,879	72,664	
55,762	55,113	

(参	考)		(単位:億円)
		亚世40年40日士		
		平成16年12月末	16/9H	16/3H

	平成16年12月末	16/9比	16/3比
投資信託残高(個人)	3,242	164	647
個 人 年 金 保 険 (取 扱 保 険 料)	2,165	159	617

(参 考)	(単位:億円)
平成16年9月末	平成16年3月末
3,077	2,594
2,005	1,547

(注)個人年金保険は、平成14年10月からの累計です。

以上